



調査報告書 2018年3月発行

Smart Packaging Market Analysis 2018

～Flexible Sensing Device 将来展望～

企画・調査・編集

株式会社ふじわらロスチャイルドリミテッド

〒101-0032

東京都千代田区岩本町 2-11-3

第八東誠ビル 4F

Tel: 03-5821-3993 Fax: 03-5821-4030

E-mail: info@fujiroth.com

Website: <http://www.fujiroth.com/>

1 Executive Summary

本書では、スマートパッケージング（アクティブパッケージング+MAP（Modified Atmosphere Packaging ガス置換包装）+インテリジェントパッケージング）の動向分析を行っている。貯蔵寿命の延長及び品質の向上に対する需要の拡大は、アクティブパッケージングと MAP の定着と拡大基調を確実なものにしており、アクティブパッケージング+MAP 市場の拡大（2015-2022 CAGR 10.8%）が見込まれる。インテリジェントパッケージングとして食品の腐敗物質の増加を色で表現する Indicator も普及し始めている。

対して、Android だけではなく iPhone が NFC に対応し、インテリジェントパッケージングの環境が整いつつあるなかで、上記の腐敗の進行を検知する NFC センサ（NFC 通信機能を有する温度や VOC のセンサ）は、今後の普及の動きが期待される。

安全確保のための規制である、医薬品における WHO “Good Distribution practice for Pharmaceutical products”、食品に関する Food Safety Modernization Act (FSMA)、HACCP などの規制は、NFC センサの普及を後押しする。サプライチェーンにおけるコラボレーションなど課題は山積だが、サプライチェーン全体を通しての品質管理能力の向上と無駄な廃棄量の削減などの効果や B2C におけるブランドエンゲージメント向上のためのケーススタディを重ねることで、2018 年から 2022 年までの CAGR45.3%の成長が見込まれる。ここでは、Flexible & Printed Electronics における技術開発が重要であり、当面は FHE だが、Organic Electronics の早期の実用化が望まれる。2022 年におけるフレキシブルセンサの規模は、フレキシブル生体センサ（Flexible & Stretchable, Flexible の合計）とほぼ同様の規模となると想定される。FIG.1 に本書の内容の概要を示す。

Fujiwara-Rothchild, Ltd.

Executive Summary

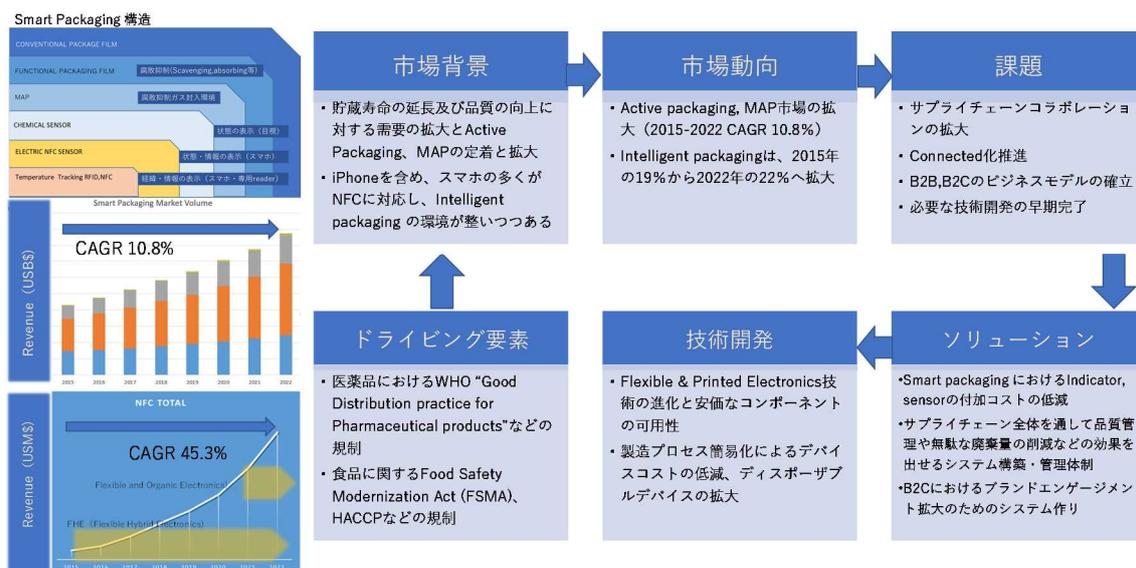


FIG. 1 Executive Summary



Smart Packaging Market Analysis 2018

～Flexible Sensing Device 将来展望～

無断禁転載

株式会社ふじわらロスチャイルドリミテッド

2018年3月28日発行

価格 ハードコピーのみ ¥500,000 電子ファイル付 ¥550,000